



SANO NIHON UNIVERSITY  
SECONDARY SCHOOL



[ 広報 ]

# わかざくら

W A K A Z A K U R A

vol.60

2022. 5. 31



手づくりのヨサージュ



ハッピーバースデー!(6年)



桜の下で(1年1組)



歓迎の言葉



よろしくお願ひします  
(対面式)



自己紹介(1年2組)

## 目次

入学式	P 2・3
遠足・PTA総会	P 4
各賞受賞者	P 5
大学合格実績・輝く仲間たち	P 6

佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)

<https://ss.sano-nichidai.jp/>

# 入学式にあたって



## 新入生に期待すること

校長 船渡川 重幸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

さて、これから本校で6年間を過ごすにあたり、皆さんに二つのことをお伝えしたいと思います。

一つ目は、自分を大切にすること。そして同じように他の人も大切にすることです。皆さんには、ご両親、おじいちゃん、おばあちゃん、そして、曾おじいちゃん、曾おばあちゃんがいます。わずか3代<sup>さかのぼ</sup>遡っただけでも、14人の人たちのリレーでつながりながら皆さんは命のバトンを受け取っているのです。もし、もっと前まで遡れば、信じられないくらいの数の人たちと繋がって、今の皆さんがあるのです。それだけに、皆さんはかけがえのない存在であり、大切な命なのです。そして皆さんの周りにはいる人たちも、同じようにはかけがえのない存在です。学校生活の中では、時には考え方や意見が対立することがあるかもしれません。しかし、だからこそお互いに認め合う心、ルールを大切にすること、望ましいクラスをつくらうとする心を育ててほしいのです。

二つ目は、知的な好奇心をいつも働かせる人になってほしいということです。これからの6年間<sup>ち</sup>で、皆さんは、色々なことに興味や関心が湧いてきます。知らないもの、未知なものに出会った時、「あれ？」と疑問を持ち、なぜだろうと考える。そして納得いくまで追究する。そんな中等生になってほしいのです。なぜかと疑問を持つ、この知的好奇心が私たちの学習の基礎にあってはじめて、私たちはもっと知性を身に付けよう、知識と知識とを組み合わせる新しい物事を理解しようと、自ら進んで学ぶ姿勢が生まれてきます。「なぜだろう」と疑問を抱く知的好奇心を、ますます盛んにしてください。そこから本当の学びが始まります。

新入生の皆さんが、6年間、たくさん学び、身体を鍛え、心を磨きながら大いに成長していくことを強く願っています。



## 不確実性に立ち向かう

理事長 長谷川 弘

新入生の皆さん、私たち佐野日本大学学園は皆さんの入学を心より歓迎します。

さて現在、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進は社会のあらゆる分野の改革を促し、学校教育も大きく変わろうとしています。また近年、海外子女の半数以上が日本人学校ではなく現地校やインターナショナルスクールを選択するなど(海外子女教育振興財団調べ)、多様性への志向はますます強くなっています。教育の「ゲームチェンジ」は、今まさに起ころうとしているのです。

その流れを受けて、私たちは従来のトップダウン型組織に多い「野球型」ではなく、教職員一人ひとりの自律性を重んじ主体的な行動を促進する「サッカー型」によるマネジメントを重視していくなど、経営戦略と体制・組織の再構築を進めています。また「パンデミックは危機管理である」と認識し、「学生・生徒と教職員の生命と健康を守る」、また「教育を確実に学生・生徒に届け続ける」ことを最優先課題に取り組み、新型コロナへの対応についても最小限のダメージに抑えられたと自負しています。ぜひ安心して、自分の学びに集中してください。

変化が激しく予測不可能な時代にあっては、データサイエンスの知識に基づいた新たな価値観の創造が不可欠です。そして優れたイノベーションは、さまざまなバックグラウンドを持つ人たちが意見をぶつけあうことで、はじめて生まれるものなのです。学園の各学校は多様性の尊重と探究的な学習・研究を通じ、皆さんの学びを全力で支えていきます。

新入生の皆さんが、正解のない問題の解決策を考え抜くための「たくましい知性」と、ダイバーシティの発想に基づいた「しなやかな感性」を身につけ、現代の不確実性に立ち向かうことを大いに期待しています。

力強く  
第一歩

## 入学式行われる



4月7日(木)、令和4年度入学式が挙行された。感染予防に配慮し、新入生の各家族2名ずつの参加に協力いただいた式であったが、緊張感のなかにも和やかな雰囲気が流れ、新入生の本校での第一歩にふさわしい式となった。

校旗入場、開式の辞、国歌演奏の後、新入生一人ひとりの名前が呼ばれた。呼名に対し、しっかりと返事をして起立した60名の新入生たちは、校長による入学許可と、それに続く校長式辞に耳を傾けた。(2面)

続いて、日本大学学長・加藤直人先生の名代として日本大学スポーツ科学部長・小山裕三先生が学長のメッセージを読み上げた。さらに来賓を代表して、横井帝之PTA会長よりご祝辞をいただいた。

この後、新入生を代表して、伊藤優杏さん(羽生・岩瀬小)より誓いの言葉が述べられた。伊藤さんはアンネ・フランクの言葉を引用し、広い視野を持ち、自分たちにできることは何かを常に考え、希望と感謝をもって学校生活を送っていきたいと力強く抱負を語った。



次に、生徒会長の江森瞳さん(5年・明和・明和西小)から歓迎の言葉が述べられた。江森さんは、時間は有限であること、そして学校生活は一度きりであることを踏まえ、明確な目標を立て、色々なことに積極的にチャレンジすることを勧め、最後に新入生たちの6年間で有意義なものになることを祈り、歓迎の言葉を締めくくった。

約1時間の式であったが、新入生たちは、上級生たちが手作りしたコサージュを胸につけ、緊張の面持ちながらも、希望に満ちた、晴れ晴れとした表情で式場を後にした。

## 新入生校内研修



入学式翌日(8日)から12日まで、新入生校内研修が行われた。



フリップを使ってクラス

メイトの前で自己紹介をしたり、キャンパスツアーをしたり、あるいはクラス役員を決めたりと、盛りだくさんの内容であった。研修後半からは徐々に授業に入った。

新入生たちは、担任の指導の下、積極的にコミュニケーションをとり、6年間の学校生活の第一歩をしっかりと踏み出した。

## 退任教職員

\*大澤 克至 教諭(国語)  
半田 宗 教諭(理科)  
中嶋 秀行 教諭(社会)  
真島 仁 教諭(理科)

\*印の教職員は引き続き勤務します。

## 新任教職員

山中 健 教諭(社会)  
齋藤 亮介 教諭(理科)  
中崎 英寿 教諭(理科)

## 中等教育学校のおもな分掌

校 長	船渡川重幸
教 頭	榊原 茂明
副 教 頭	菊地 秀明
主 事	柏倉 豊・中井 啓之 細田 晃良・大島 宏之
高校・中等事務長	赤坂 英則



## 中等教育学校 担任一覧 \*学年主任

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
1 組	今泉 詠吉*	八下田久美子*	神山有紀子*	山内 貴光*	丹野 隆史*	松岡 洋平*
2 組	廣井 雅典	平川 竣一	一ノ瀬藤明	大久保あゆみ	島田真理子	大橋 優生



ファーストステージ  
日光江戸村&東武ワールドスクウェア

セカンドステージ  
大洗水族館&ひたち海浜公園

ファイナルステージ  
那須ハイランドパーク

## PTA 定期総会開催 役員改選行われる

5月19日(木)、PTA 定期総会が開催された。コロナ禍のため、2年ぶりの実施となった。当日は学級懇談会も行われ、担任から学年および学級運営についての説明なども行った。

### 【本部役員】

会長 横井 帝之(佐・足)  
 副会長 鈴木 和子(栃 木)  
 山崎 正紀(群 馬)  
 本庄 広大(佐・足)  
 印出 和幸(茨 城)  
 黒須 清枝(埼 玉)  
 理 事 小倉 重人(佐・足)  
 南川 千里(群 馬)  
 石川 優子(栃 木)  
 監 事 小平 修三(栃 木)  
 松本 恵美(埼 玉)  
 会 計 片柳 容子(群 馬)  
 菊地 義典(佐・足)

### 【学年部役員】

6学年部長 大島 準(佐・足)  
 副部長 山下 優子(埼 玉)  
 澤井 清美(栃 木)  
 5学年部長 會田 哲治(栃 木)  
 副部長 増田 英治(佐・足)  
 久保田宏宗(埼 玉)  
 4学年部長 稲葉 麻貴(佐・足)  
 副部長 小島 利之(埼 玉)  
 小泉 仁史(佐・足)  
 3学年部長 横田 誠(佐・足)  
 副部長 神山 昌久(佐・足)  
 岡田 裕美(佐・足)

2学年部長 渡邊 泰伸(佐・足)  
 副部長 岩下 信吾(佐・足)  
 長谷川信夫(佐・足)  
 1学年部長 今吉真由美(栃 木)  
 副部長 堀田 礼子(茨 城)  
 佐野 可子(佐・足)

### 【支部長】

佐野・足利 亀田由美子  
 栃 木 小平 修三  
 群 馬 山崎 正紀  
 茨 城 小川 顕史  
 埼 玉 松田 紫乃  
 ※敬称略



# 令和3年度 修了式各賞受賞者

## 佐野市長賞



亀田 紫乃  
(佐野・田沼小)

## セカンドステージ最優秀賞



岸 美里  
(4年・館林・美園小)

## セカンドステージ優秀賞



中村 莉絵菜  
(4年・作新学院小)

## ファーストステージ最優秀賞



神山 美優  
(2年・佐野・犬伏東小)

## ファーストステージ優秀賞



花澤 憂衣  
(2年・佐野・旗川小)

### 三か年皆勤賞

須藤 達紀 (佐野・界小)  
高橋 李羽 (佐野・犬伏小)  
山中 拓 (佐野・植野小)  
石川 莉子 (佐野・天明小)  
石原 妃菜 (太田・旭小)  
坂口 真央 (大泉・南小)  
田村 曜帆 (加須・北川辺東小)  
坪内 千名 (佐野・界小)  
藤倉 栞 (佐野・吉水小)  
大野 陸 (館林・第六小)  
横塚 悠姫 (小山・寒川小)

### 三か年精勤賞

浦野 聖友 (足利・山辺小)  
大西 達也 (足利・南小)  
小島 周 (加須・加須小)  
西澤 聖翔 (佐野・吉水小)  
宮田 泰成 (小山・旭小)  
阿部 光陽 (佐野・天明小)  
張 希航 (太田・沢野小)  
茂木 花穂 (太田・休泊小)  
矢内 希和 (久喜・桜田小)  
矢口 時成 (板倉・西小)  
梁 貫地 (足利・桜小)  
浅見菜々美 (幸手・さくら小)  
田名網咲来 (古河・古河第四小)

### 奨励賞

林 咲結理 (下野・祇園小)  
廣瀬乃々佳 (足利・毛野南小)  
又野 杏子 (加須・三俣小)

### 栃木県中学校体育連盟体育運動優良生徒賞

サッカー  
大野 陸  
野球  
染谷 恒成 (栃木・栃木第三小)

### 佐野市中学校体育連盟運動優良生徒賞

サッカー  
大西 達也  
小泉 悠真 (足利・南小)

### 佐野市中学校体育連盟優秀選手賞

サッカー  
大野 陸

### 栃木県合唱連盟賞

阿部 光陽  
藤倉 栞  
澤井 音羽 (栃木・大平西小)

### 佐野市中学校文化連盟芸能・文化活動優秀生徒賞

作文  
林 咲結理  
廣瀬乃々佳

### 功労賞

サッカー部  
大西 達也  
小泉 悠真  
合唱部  
阿部 光陽  
澤井 音羽  
藤倉 栞

### 和太鼓部

石川 莉子  
矢内 希和  
書道同好会  
廣瀬乃々佳

### 努力賞

男子バスケットボール部  
岩崎 凌 (野木・友沼小)  
男子ソフトテニス部  
織田 憲人 (宇都宮・戸祭小)  
笠原幸之佑 (足利・御厨小)  
北岡昌太郎 (小山・小山城東小)  
小島 周  
中村 昌嗣 (館林・第一小)  
宮田 泰成  
小平 煌三 (作新学院小)  
佐藤 啓 (栃木・西方小)  
竹中 颯 (小山・小山第三小)  
宮下 健 (佐野・田沼小)  
梁 貫地

### 水泳部

高橋 李羽  
林 咲結理  
藤井 礼子 (行田・荒木小)  
横塚 悠姫

### 軟式野球部

長沼 健世 (八千代・中結城小)  
尾林 弦 (太田・葦川西小)

### 書道同好会

石原 妃菜  
西田 心美 (足利・南小)  
奥澤穂乃香 (羽生・羽生北小)

### 英語研究部 (SELIC)

坂口 真央  
華道同好会  
張 希航  
茂木 花穂  
ディベート部  
坪内 千名  
女子バスケットボール部  
岡田 心海 (佐野・天明小)  
女子ソフトテニス部  
浅見菜々美  
石塚 凜 (館林・第一小)  
山田 奈波 (館林・第一小)

### 感謝状

生徒会  
須藤 達紀  
林 咲結理  
廣瀬乃々佳  
石田 智子 (太田・宝泉小)  
亀田 紫乃

### 学校後援会表彰

書道  
神山美優  
岡田七海 (5年・佐野・天明小)

※学校後援会表彰は全学年が対象となります。  
※学年表記は昨年度のもので、  
※学年表記がないものは3年です。

# 2022年春 大学合格実績

令和4年3月  
卒業生59名

卒業生は、授業を中心とした学習に、各種セミナーや課外授業などに積極的に参加した。今年度の大学合格状況は国公立大学等へ13名、日本大学へ107名、難関私立大学等へ105名、医歯薬獣医系学部へ31名となった。

## 医学部 10名 合格!

日本大学・杏林大学・北里大学・聖マリアンナ医科大学・川崎医科大学・獨協医科大学・埼玉医科大・岩手医科大学

北海道大学・秋田大学・群馬大学等 国公立大学・大学校へ	<b>13名 合格!</b>
日本大学の各学部へ 付属推薦制度 & 一般入試を合わせて	<b>107名 合格!</b>
上智大学・東京理科大学・MARCH等 難関私立大学へ	<b>105名 合格!</b>
歯学部・薬学部・獣医学部・看護学部へ	<b>21名 合格!</b>

(既卒生も含む)

### 輝く仲間たち

#### 令和3年度第3回実用英語検定試験

準1級 大木 眞希  
(6年・小山・小山城東小)



#### 第38回成田山全国読書大会

推薦・日輪賞  
特選・月輪賞  
岡田 七海 (6年・佐野・天明小)



### 卒業生の活躍 小暮ひかるさん

7期生の小暮ひかるさん(邑楽・中野東小)が、TOYOTA GAZOO Racing WRC チャレンジプログラムに見事合格し、プロドライバーへの道を歩み始めた。このプログラムは、勝田貴元選手に続く日本人ラリードライバーを育成する目的で、TOYOTA GAZOO Racing に所属し、フィンランドに拠点を置いてラリーに参加していくというものである。小暮さんはそのプログラムに参加する3人のうちの1人に選ばれた。

「日本ではラリーはまだまだ認知度が低いかもしれませんが、がんばってみんなに知ってもらいたい」と小暮さん。活躍を期待したい。

### ウクライナ人道支援募金

2月24日からのロシアによるウクライナ侵攻が始まり早くも3か月が経過した。毎日のようにテレビやインターネットに流れるいたましい映像に、微力ながらも何かできないかと心を痛めている生徒も多い。

そんな中、生徒会がウクライナに対する人道支援募金を呼びかけ、昼休みに各教室をまわったところ、約一週間で47,202円が集まった。この善意の募金は、日本赤十字社を通じて送金された。

同じ時代を生きる人間として、何ができるかを考えていきたい。



### 編集後記

木々の緑も日々鮮やかになり、光を受けて生き生きとした姿を見せている。エネルギーに満ちた季節が間もなく到来しようとしている。6年生の学年目標は「画竜点睛」。物事を立派に完成させる最後の仕上げという意味だ。来たるべき試験に備え、実力を蓄え、最後の仕上げをしっかりと行ってほしい。健やかな若木が天を目指すように、どの生徒も悔いを残さない日々を過ごしてほしい。(長谷川記)

### 広報わかざくら VOL.60

佐野日本大学中等教育学校 栃木県佐野市石塚町2555  
☎0283-25-0111(代) <https://ss.sano-nichidai.jp/>